【教育理念】児童の笑顔、教師の笑顔、保護者の笑顔が　魅力ある学校を作る

㋕んどういっぱい　㋔キドキいっぱい　㋒クワクいっぱい　㋓ラキラ輝く　大野木場小学校便り　№６４
令和８年１０月２３日（金）
南島原市立大野木場小学校
校　長　　森田　純弘

かどわきっ子

運動会を終えて

１８日、１０月とは思えないような日差しの中で、運動会を無事に終えることができました。暑いなか、早朝から子どもたちの応援に駆けつけてくださった保護者の皆様をはじめ、御来賓の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。皆様の応援を受けて、子どもたちは120%の力を出すことができました。

今年の運動会も、昨年同様に最後まで結果が分からない接戦でした。優勝した紅組のみなさん、おめでとうございます。残念ながら準優勝だった白組のみなさん、解団式での６年生の言葉に、来年度に向けた勇気をもらったことでしょう。６年生の思いを背負って、ぜひ頑張ってください。

これまでも何度か書いていますが、運動会などの学校行事を通して、子どもたちは大きく成長します。運動会では、特に６年生が成長します。今年もそうでした。「どうすればうまく伝わるかな。」、「どうやってまとめたらいいのだろう。」、「何を準備すればいいかな。」、「次はどんな練習をしようかな。」、考えて実践すべきことは、挙げればきりがありません。それだけ一生懸命に取り組んでいるからこそ、解団式での涙につながります。その姿を下級生に見せることで、下級生はまた一歩成長します。この他にも、「周りを見て考える力」、「話を聞く力」、「やり抜く力」、「協力する力」…。子どもたちが輝く場面、成長する場面がたくさんあります。運動会当日にお見せできたのは、その一部分ではありますが、子どもたちの成長を具体的に褒めていただければ、自己肯定感のアップにつながるものと思います。たくさんの御声援ありがとうございました。

来年度は、１１月に研究発表会を控えているため、運動会を５月に開催する予定です。

「伝える力」

学校は、子どもたちが集団生活を営む場です。人が集まるわけですから、多少のトラブルはあります。逆に、友達とのトラブルがない学校は、言いたいことも言えず、グッと我慢ばかりしているのではと心配になります。

最近は、何となくモヤモヤ、イライラする気持ちを、言葉にすることが苦手な子どもが増えていると言われています。「言語化」については、一昨年９月18日付第12号、昨年９月22日付第38号でも少しお伝えしました。「伝える力」＝言語化能力は、学校生活がうまくいくようにするために必須の力です。頭の中にある漠然とした感情や情報を、的確な言葉を使って相手に分かりやすく伝えることができないと、自分の中にモヤモヤがたまったり、相手を罵ったり、手を出したりすることにもつながります。

言語化能力は、人との関わり方だけではありません。国語の読解力や算数の文章題の理解などにもつながります。つまりは、言語化能力が低いと、学習への苦手意識が生まれ、学習意欲の低下にもつながります。

では、どうすれば言語化能力を育てることができるのか、家庭ではどうしたらよいのかについては、次号からお伝えしていきます。

まずは、今日お子さんに「ありがとう。」と具体的に伝えてみてください。



おもな行事

２日（月）　面談週間（～６日）
　　遠足予備日（弁当持参）
５日（木）　委員会活動
６日（金）　３年親子レク
７日（土）　市Ｐ連モルック大会
８日（日）　通学合宿（～１１日）
１０日（火）　３年小児活習慣病予防教室
　　朝マラソン開始
１２日（木）　６年ふるさと発見ツアー
１３日（金）　避難訓練、３年高齢者疑似体験
１７日（火）　６年給食指導、卒業記念写真撮影
１９日（木）　代表委員会、読書集会
２０日（金）　特別日課（給食後下校）
２７日（金）　持久走大会、学級部会